

# 持続可能な地域公共交通に向けた 広島都市圏での取組み

広島電鉄株式会社

代表取締役専務 交通政策本部担当 仮井 康裕

# 会社概要

開業	1912年（大正元年）11月23日
創立	1942年（昭和17年）4月10日 （広島瓦斯電軌株式会社から分離）
本社所在地	広島市中区東千田町2丁目9番29号
主な事業内容	鉄・軌道事業、自動車事業、不動産事業
営業キロ	鉄・軌道 35.1km（鉄道16.1km、軌道19.0km） 自動車 1,306.9km
資本金	23億3,562万5千円
従業員数	1,627人（2023年3月31日現在）



【軌道区間 市内線】

8系統：19.0 km

- ・1号系統 広島駅～広島港  
(紙屋町経由)
- ・2号系統 広島駅～広電西広島
- ・3号系統 広島港～広電西広島
- ・5号系統 広島駅～広島港  
(比治山下経由)
- ・6号系統 広島駅～江波
- ・7号系統 横川駅～広電本社前
- ・8号系統 横川駅～江波
- ・9号系統 八丁堀～白島

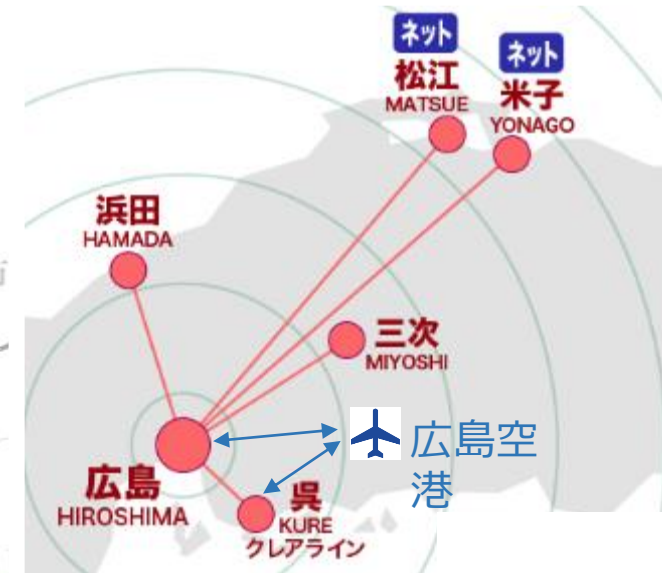
【鉄道区間 広電宮島線】

広電西広島～広電宮島口：16.1 km



## 【路線バス 主要営業エリア】

広島市  
廿日市市  
府中町  
熊野町  
安芸高田市  
北広島町  
安芸太田町  
呉市



## 【高速バス】

広島空港リムジンバス  
呉広島空港線  
松江線  
米子線  
浜田線  
三次線  
広島～呉線（クリアライン）

## 近年の主なプロジェクト

**西風新都グリーンフォート  
そらの**  
2015年竣工  
郊外型複合宅地



**グリーンフォートみそら**  
2023年竣工予定  
郊外型複合宅地  
(事業者：広電建設)



**ザ・府中レジデンス**  
2021年3月竣工  
総戸数：172戸



**(仮称) 己斐本町分譲マンション計画**  
2024年12月竣工予定  
総戸数：42戸

**西広島 (己斐)**  
2024年頃JR橋上化予定  
交通結節点強化、  
再開発事業、老朽化対応  
<KOI PLACE>



**(仮称)  
広島市南区大須賀町プロジェクト**  
2025年8月竣工  
総戸数：未定

**トランコート五日市駅前**  
2022年3月竣工  
総戸数：63戸



**スタートラム広島**  
2017年竣工  
大型複合オフィスビル



**宮島口**  
2022年7月新駅舎開業  
2023年3月立体駐車場等、  
供用開始予定



**トランヴェール  
ビルディング**  
2012年竣工  
大型複合オフィスビル



**ザ・タワーレジデンス 広島富士見**  
2023年12月竣工予定  
総戸数：76戸



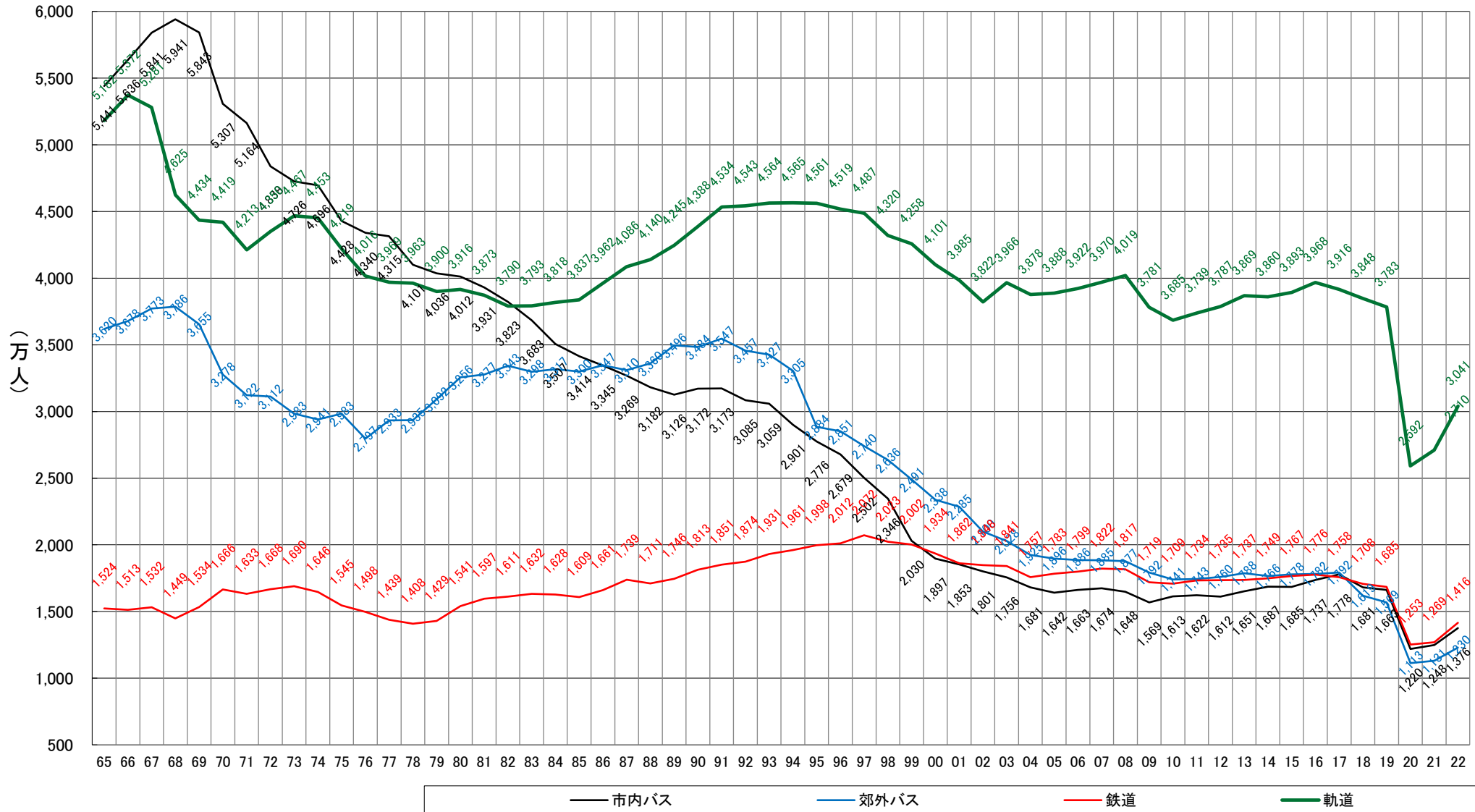
**本社周辺**  
多世代循環型、職住近接

**hitoto 広島 The Tower**  
2020年4月竣工  
総戸数：665戸  
※ナレッジスクエア (賃貸)  
竣工：2017年3月  
総戸数：145戸



**楽々園**  
郊外型 S C、老朽化対応  
面積：約11,500坪  
ナイスディ棟解体完了  
今後開発検討中

# 当社を取り巻く環境





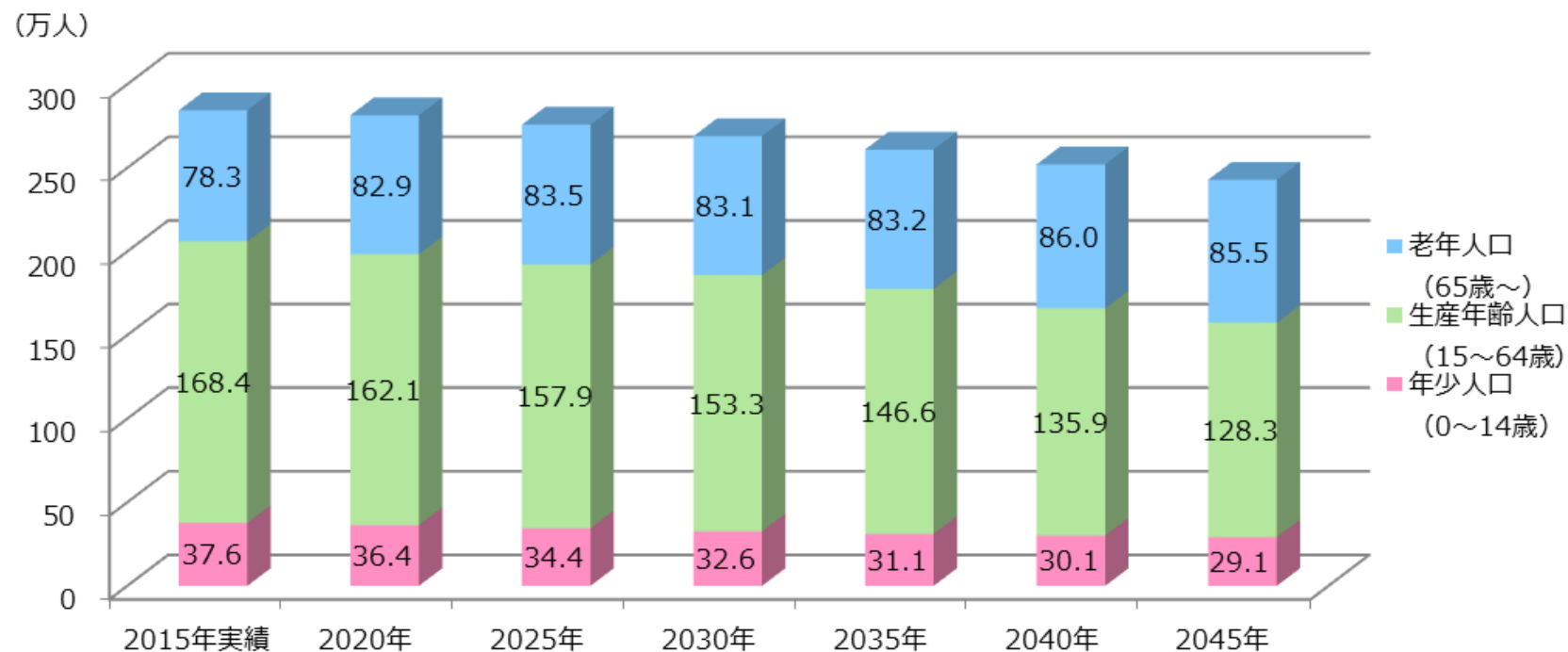
## 生産年齢人口の減少と高齢者の増加

高齢者が、買物・通院等の日常生活に不可欠な移動手段の確保や、社会参加を促進するための環境づくりが求められています。

また人口減少社会において、まちのにぎわいを創出する上で、公共交通は重要な役割を果たします。

出典：国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口（2018年推計）」

### 広島県の年齢3区分別人口割合の推移と将来推計



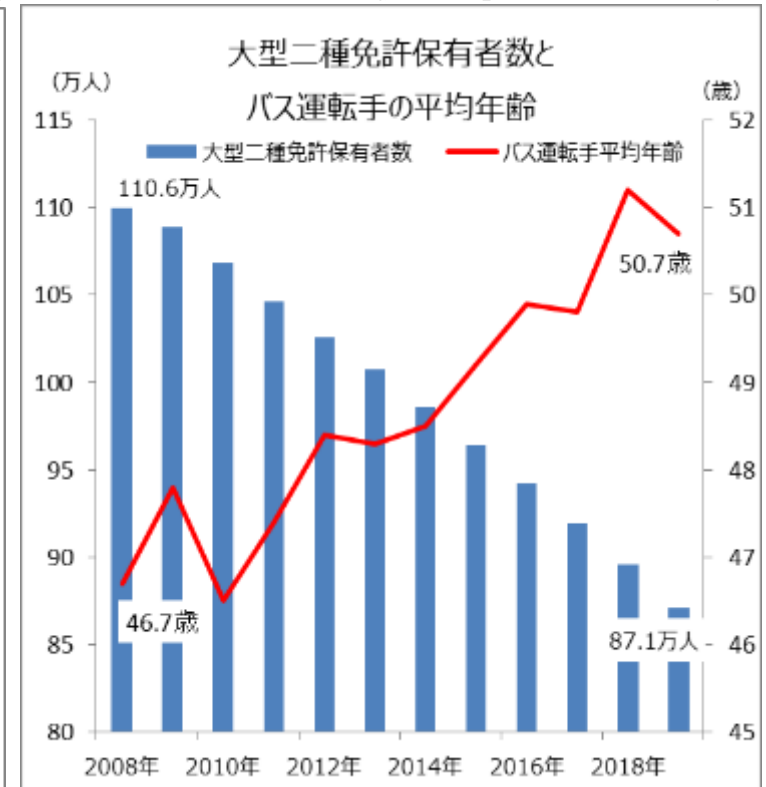
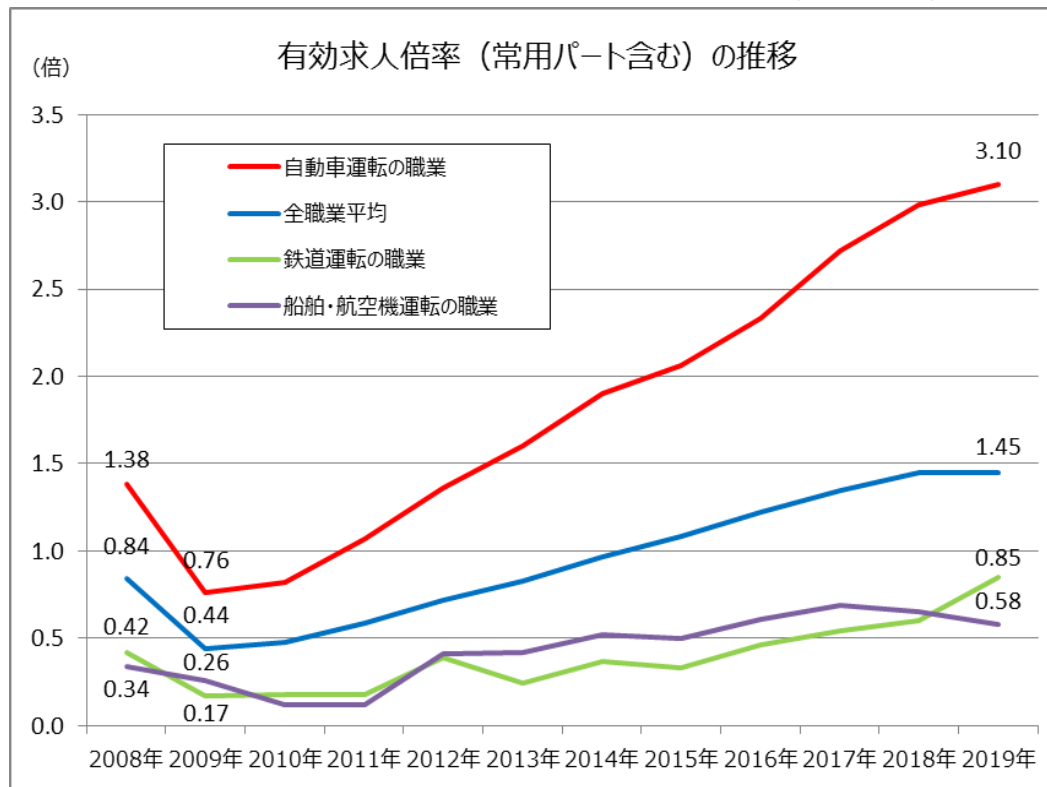
## 乗務員の確保

自動車運転の職業の有効求人倍率※は、リーマンショック前の2008年における1.38倍から、2019年には3.10倍と大幅な上昇を見せています。また大型二種免許保有者数は大幅に減少するとともに、バス運転手の高齢化が顕著になっています。

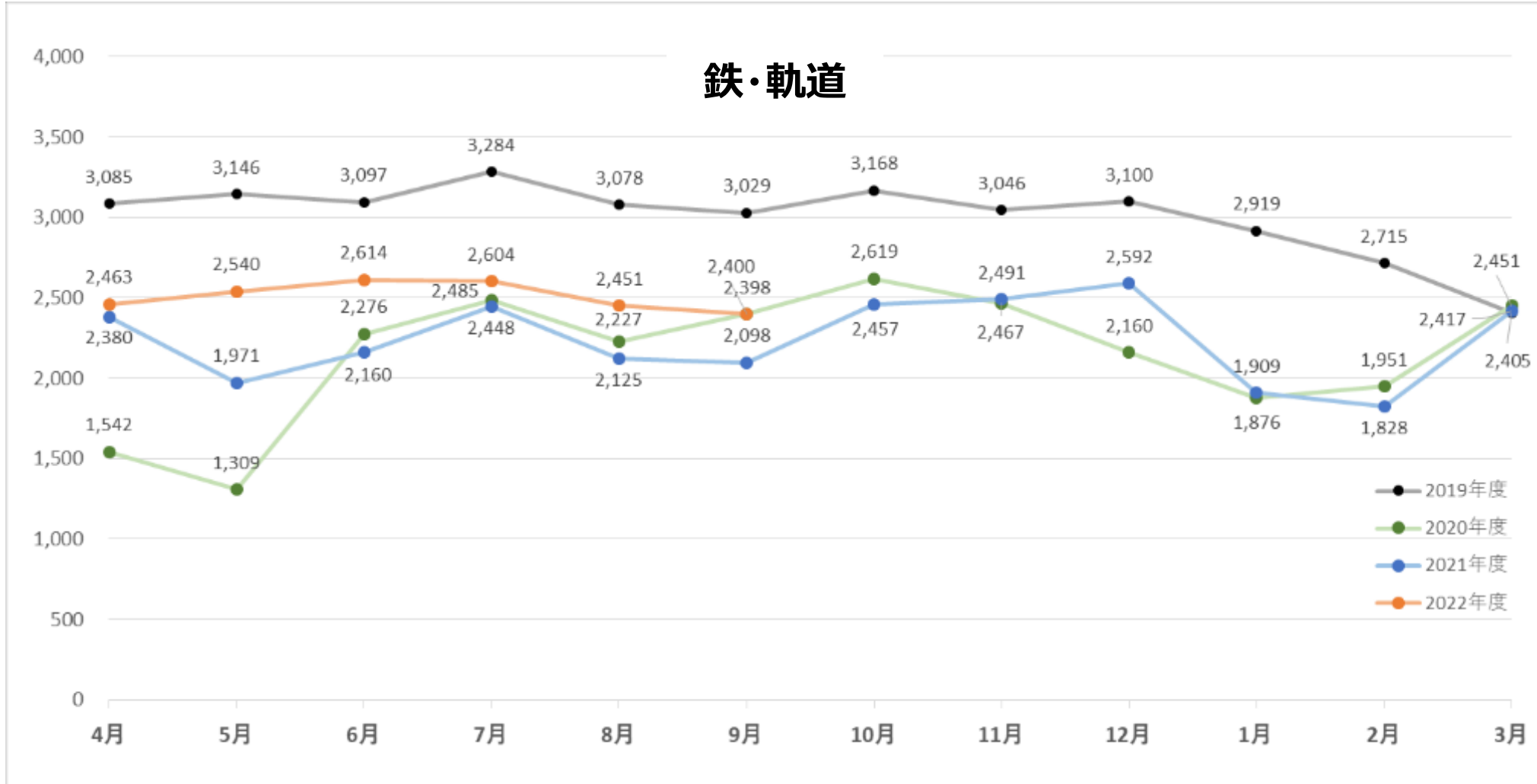
※有効求人倍率・・・企業からの求人数（有効求人数）を、公共職業安定所に登録している求職者（有効求職者数）で割った値

出典：厚労省「職業別一般職業紹介状況」

出典：厚労省「賃金構造基本統計調査」、警察庁「運転免許統計」

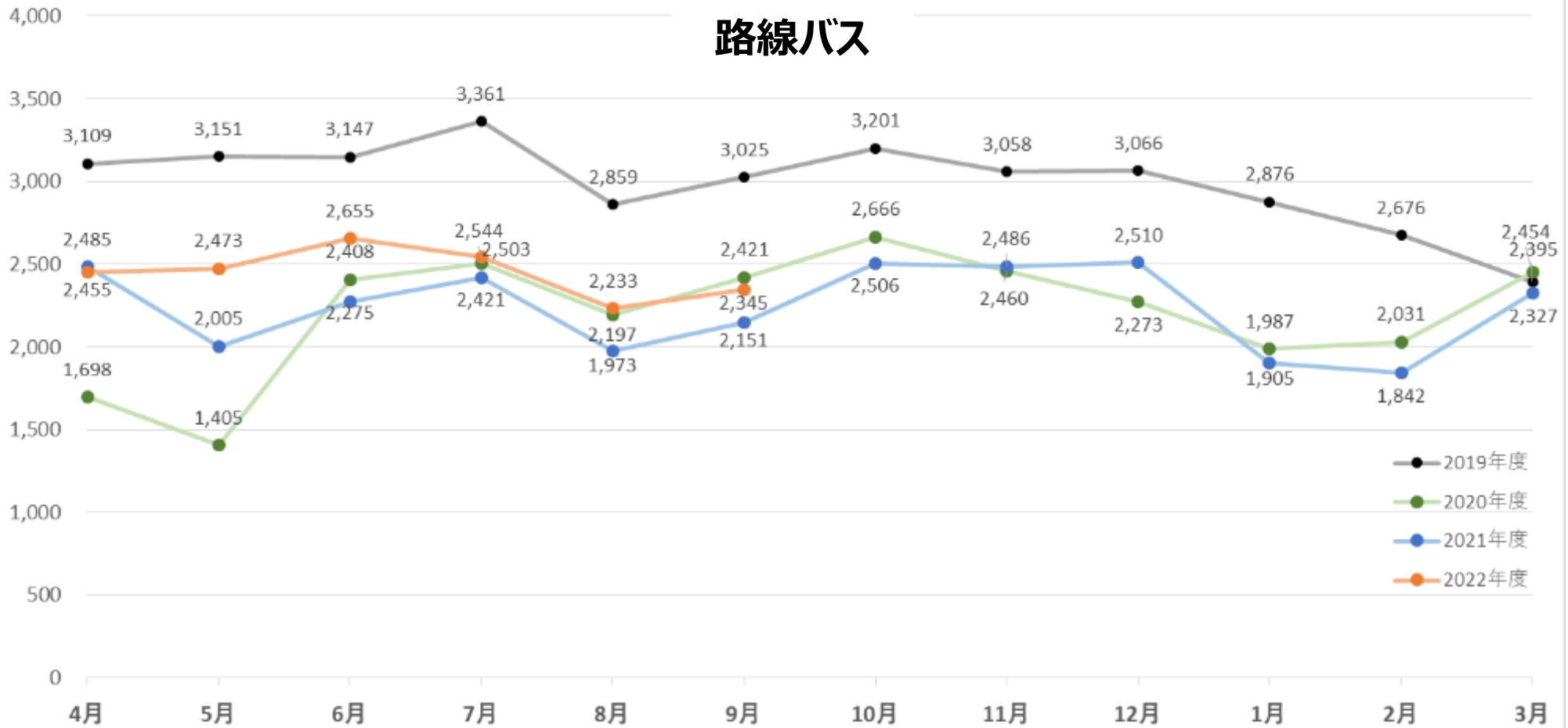


## 電車・バスの利用推移 (ICカード利用人数)



電車・バスの利用推移 (ICカード利用人数)

路線バス



# 当社の取り組み



(1) わかりやすく使いやすい公共交通



(2) ICTを活用した事業の変革



(3) まちづくりへの挑戦と移動機会の創出

# 当社の取り組み (1) わかりやすく使いやすい公共交通

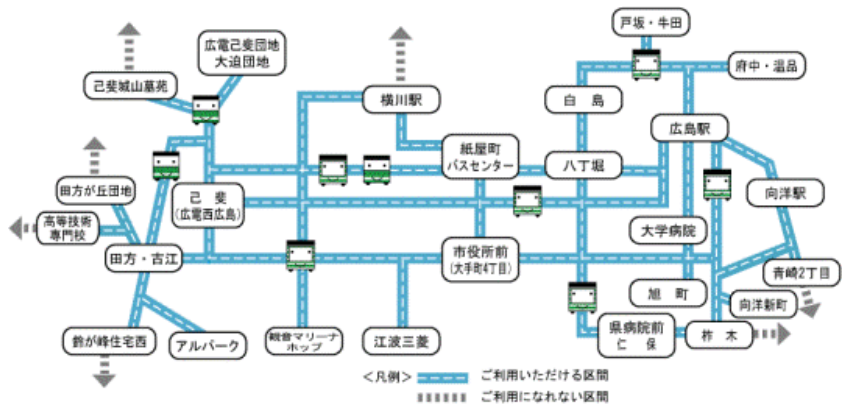


- 広島市中心部を運行する**交通事業者7社が共同経営**の協定を締結
- 路線バスの均一運賃エリアを拡大し、対象区域内で完結する**7社の路線バス区間及び電車市内線（白島線除く）の運賃を220円均一**とする。
- 2022年11月1日実施

— 路線バス    — 電車市内線（点線：白島線）    ● 220円均一運賃エリアの境となるバス停（予定）  
○ 190円均一運賃エリア（現行）    ○ 220円均一運賃エリア（変更後：予定）

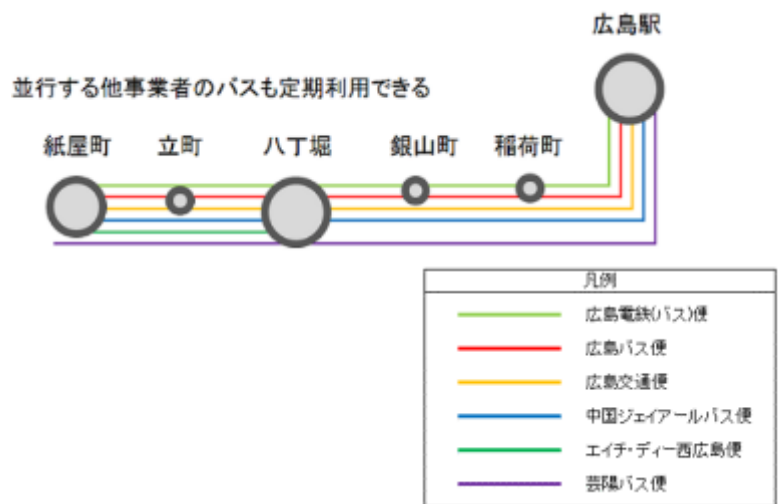
# 当社の取り組み (1) わかりやすく使いやすい公共交通

## ○エリアフリー定期券 (既存)



一定エリア内での定額定期券

## ○共通定期券 (既存)



## ○広島シティパス (既存)

エリアフリー定期券と共通定期券を  
組み合わせた定期券



## 広島シティパスの拡充



- 既存の「広島シティパス」の**利用可能範囲を均一運賃エリア内（デルタ市街地内）に拡大**
- 広島シティパスよりも広範囲を対象とした「広島シティパスワイド」を新設
- 学生や障がい者・高齢者の負担を軽減する新たな割引制度を導入

## デジタルフリー乗車券の新設 （6時間乗り放題）



- 均一運賃エリア内を運行する路線バス及び電車の相互利用が可能なデジタルフリー乗車券を新設
- デルタ市街地内の回遊性向上や、普段路線バスや電車を利用する機会が少ない人にも気軽に利用してもらおうきっかけづくりとなりえる

利用可能日	利用可能時間帯
平日	6時間有効（10時～16時限定）
土休日	6時間有効（時間帯制限なし）

ICカード全扉乗降サービスを接続車両 (30m級※) へ拡大



● ICカード全扉乗降サービス 拡大状況 (2023.9.30時点)

区分	実施車両数	区分全体に占める割合
鉄道	40編成	97%
軌道	35編成	100%

- 将来的には新乗車券システムを活用してどの扉からでも乗降できるサービスの導入を計画するなど、**すべてのお客様にとって使いやすい公共交通を目指す**

# 当社の取り組み (2) ICTを活用した事業の変革

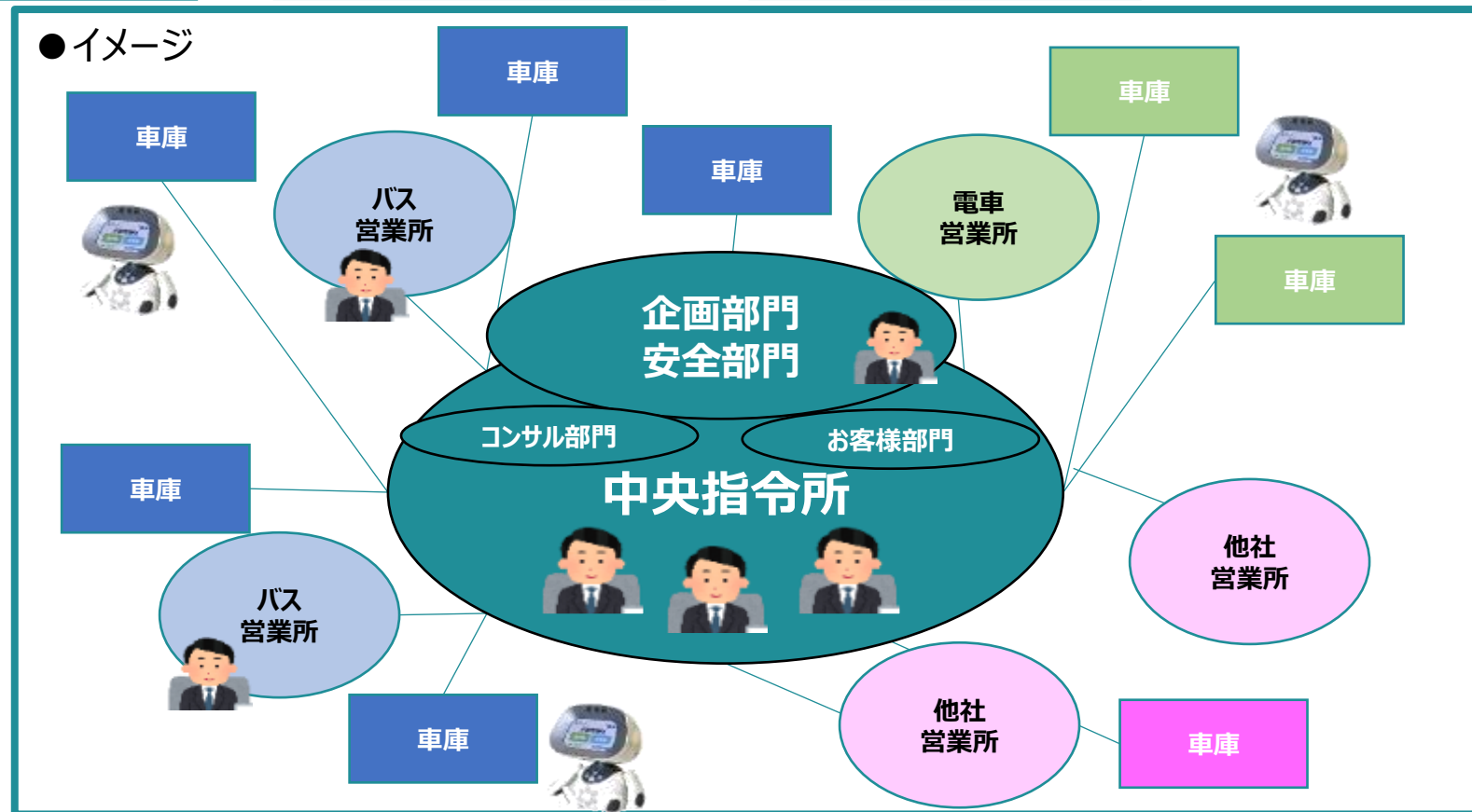
ICTを活用し、運行管理の集中化を図り、安全性を維持・向上させつつ、効率化・生産性の向上を図る

様々なデジタル  
ツールを導入

業務フロー・体制  
の抜本的な見直し

バックオフィス等  
の業務効率化

旅客サービス・  
安全性の維持向上



# 当社の取り組み (2) ICTを活用した事業の変革

## IT点呼支援システムの導入

営業所を跨る遠隔点呼を実現するため、2022年2月より、順次、点呼を支援するシステムを導入。今年度中に全拠点への展開を予定。

これまで



2022年2月30日(木曜日) 天候 天候 乗務員勤務対面点呼簿															
区間	種別	乗務員	乗務員	乗務員	乗務員	乗務員	乗務員	乗務員	乗務員	乗務員	乗務員	乗務員	乗務員	乗務員	乗務員
中野	山手線	山手線	山手線	山手線	山手線	山手線	山手線	山手線	山手線	山手線	山手線	山手線	山手線	山手線	山手線

固定物接触事故撲滅  
制限速度の厳守、  
駐停車車両の側方通過時は検行

導入後



駅名	種別	乗務員	乗務員	乗務員	乗務員	乗務員	乗務員	乗務員	乗務員	乗務員	乗務員	乗務員	乗務員	乗務員	乗務員
山手線	山手線	山手線	山手線	山手線	山手線	山手線	山手線	山手線	山手線	山手線	山手線	山手線	山手線	山手線	山手線



システム画面のスクリーンショット。乗務員勤務対面点呼簿のデジタル表示。検索機能、データ入力欄、および乗務員の勤務状況を示すリストが含まれています。

乗務員	種別	乗務員	乗務員	乗務員	乗務員	乗務員	乗務員	乗務員	乗務員	乗務員	乗務員	乗務員	乗務員	乗務員	乗務員
山手線	山手線	山手線	山手線	山手線	山手線	山手線	山手線	山手線	山手線	山手線	山手線	山手線	山手線	山手線	山手線

## 将来の運行管理拠点のイメージ

分散している運行管理を集約し、複数エリアを一元的に管理する。

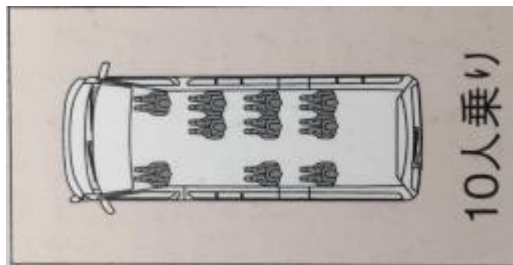


## AIオンデマンド交通

### ○ ひろでんモビリティサービス株式会社の設立

2020年2月に、AI（人工知能）活用型オンデマンド交通等により交通空白地域や中山間地域の公共交通を補完すること、また都市型ハイヤーにより小規模グループで移動する観光客やビジネス等の需要に対応する小規模旅客輸送事業を目指す子会社を設立。

「あたらしいモビリティ（交通）に、新しい夢を」





2021.2.1 mon

スマートムーバー  
SMART MOVER

Debut!



乗りたい時にスマホで呼べる!

乗りたい時に乗りたいスマートストップ(乗車ポイント)に  
スマホから簡単に配車予約ができます。

便利で簡単  
新しい公共交通  
サービス開始!



五日市湾岸地区を便利に移動!

新しい街並みが広がる五日市湾岸地区に  
全60カ所のスマートストップ(乗車ポイント)を設置。

スマホで簡単! スマートムーバーの使い方

WEBアプリからご予約ください

**呼ぶ** 必要事項を入力の上  
配車予約をしてください  
WEBアプリから予約できるスマートストップ(乗車ポイント)を設定してください。

**待つ** 予約時のご案内の時刻に  
スマートストップ(乗車ポイント)で  
お待ちください

**乗る** 乗務員に「予約番号」を伝えて  
ご乗車ください



ひろでんモビリティサービス株式会社が運行する  
スマートムーバーは、乗りたい時にエリア内のスマートストップ(乗車ポイント)へ  
いつでも移動できる新しいオンデマンド交通サービスです。  
AI(人工知能)がリアルタイムでオーダーを分析し、複数のお客様が  
乗り合わせた場合でも最適なルートでお送りします。

運賃	大人(中学生以上)	200円
	小児(小学生)	100円
	障がい者	100円
	乳幼児(未就学児)	無賃
お支払い		現金
		交通系ICカード
		MOBIRY
予約受付時間	ご利用当日の 8:30~17:00	
運行時間	9:30~17:30	定員 9名

詳しくはQRコードからWEBサイトへアクセス! ▶

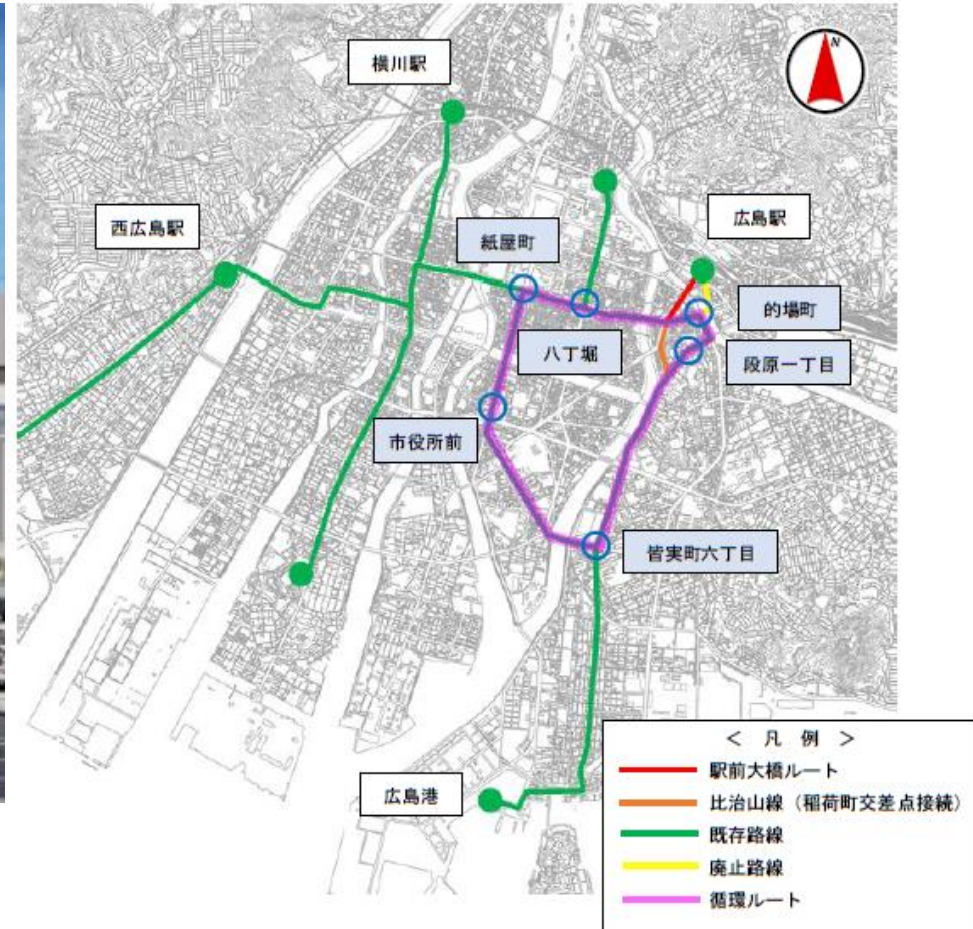
※駅・平区での乗車も、スマートフォンのご利用マナーにご協力ください。  
※QRコードに音声認識機能の搭載はございません。

# 当社の取り組み (3) まちづくりへの挑戦と移動機会の創出

## 広島駅前大橋ルート供用開始 (予定)

2020年12月に工事着手

2025年春に駅前大橋ルート供用開始し、広島駅へ路面電車の乗り入れを実施、あわせて循環ルートを運行開始





# 新乗車券システムの開発

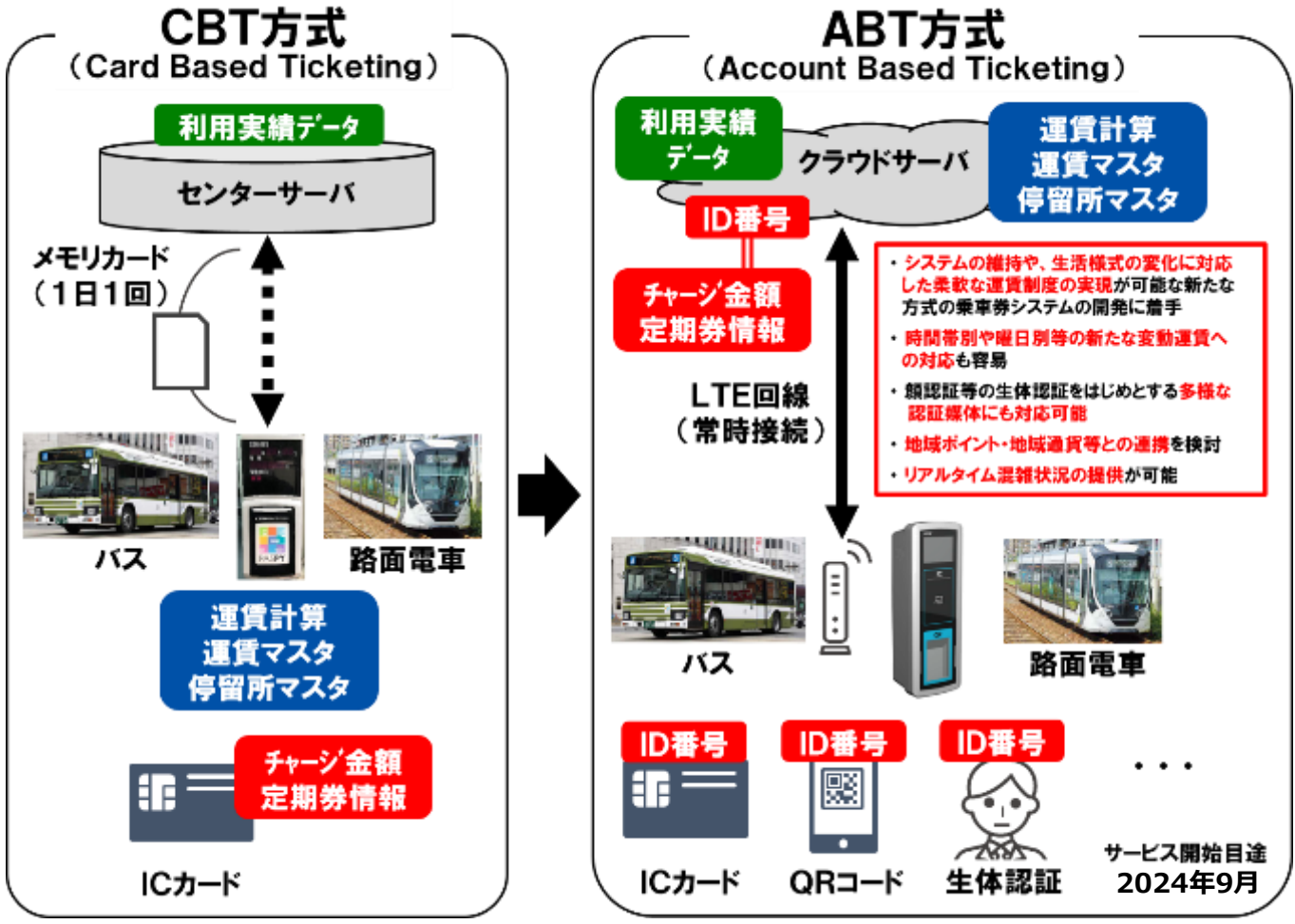
## ～CBT（Card Based Ticketing）から ABT（Account Based Ticketing）へ～

CBT：ICカード媒体に個人情報や定期券購入、SFチャージ、利用履歴を書き込み、電車・バスを利用の際にカード内情報を車載機で参照する方式

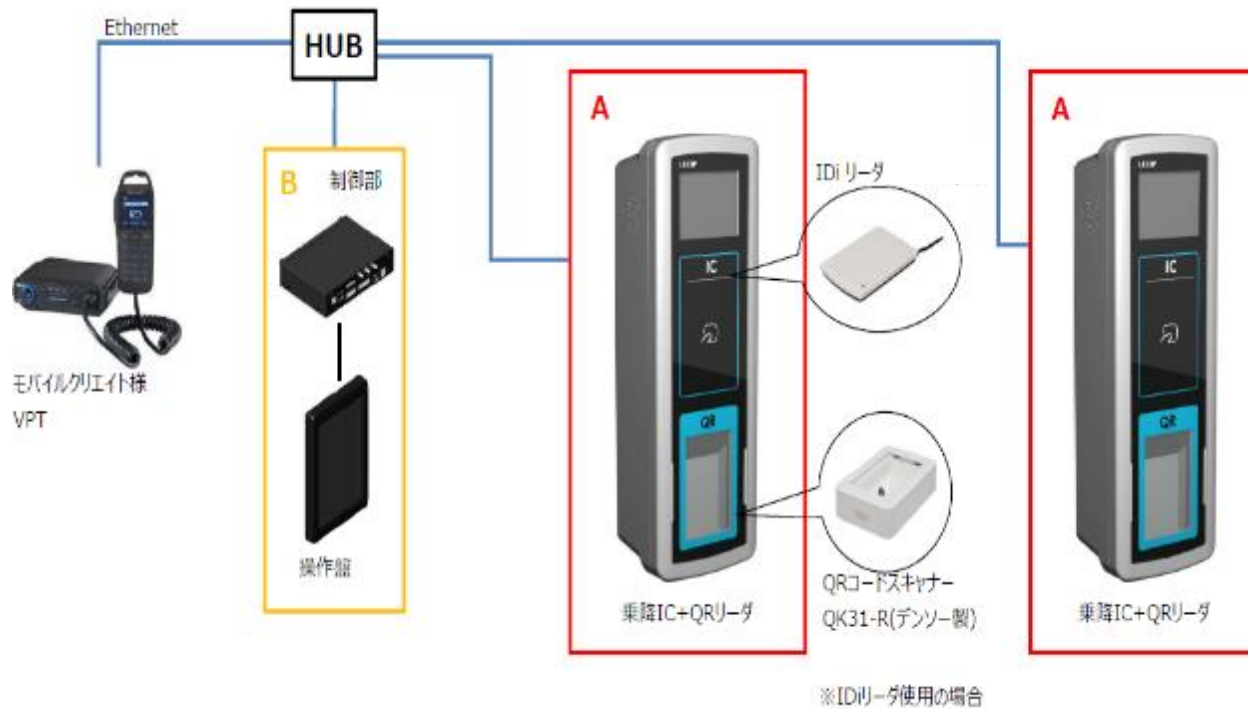
ABT：QRコードやICカード媒体のIDに個人情報や定期券情報、SFチャージ情報をクラウド上に登録・管理し、電車・バス利用の際は、媒体のIDからクラウド上のデータを参照する方式

# MOBIRY DAYS の開発

スマートフォンに表示させたQRコードや新たな交通系ICカードを認証媒体とする新乗車券システム



# MOBIRY DAYS の車載器構成



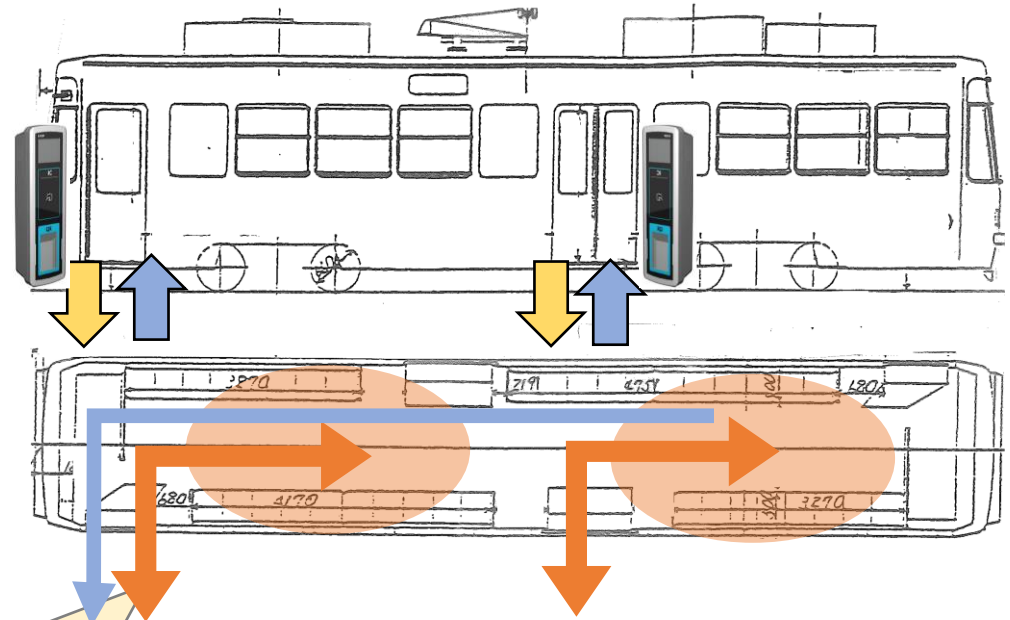
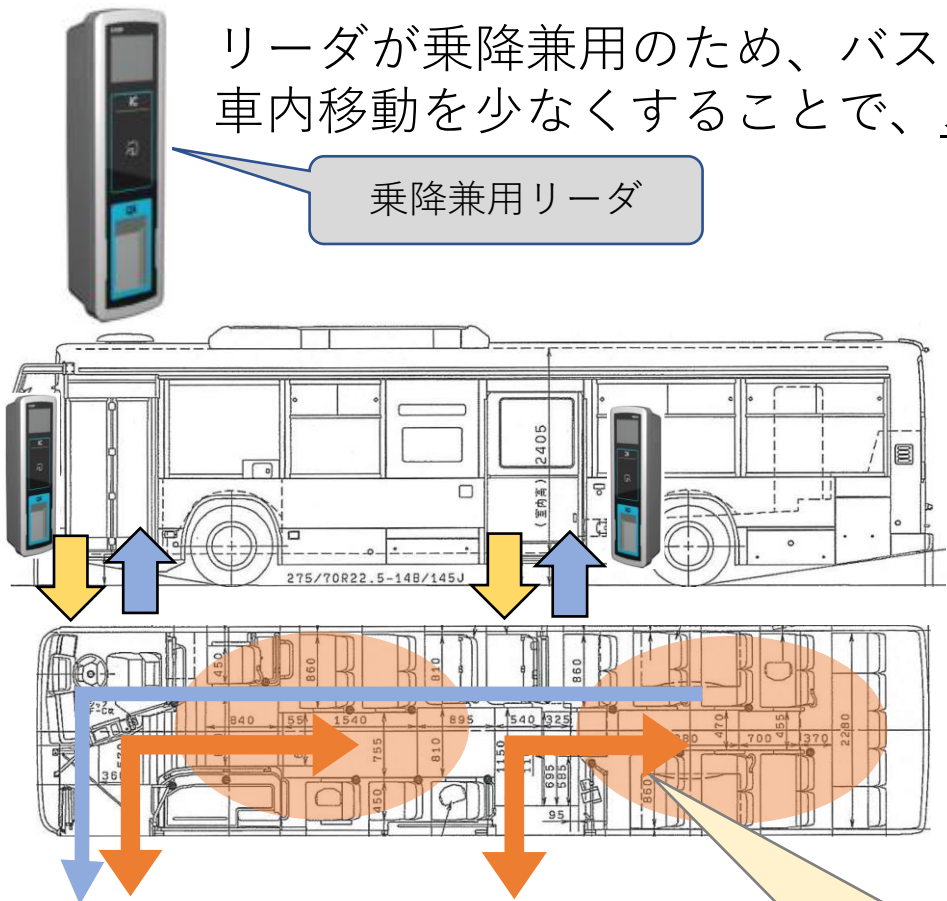
運賃箱や運賃表示器と非連動  
(現行の循環式運賃箱や運賃表示器は不要)

# MOBIRY DAYS で実施可能な施策

## ○乗合バス・広電電車の全扉乗降の実施

リーダが乗降兼用のため、バス・広電電車で全扉乗降を実施し、スムーズな乗降と車内事故防止を図る。

乗降兼用リーダ



従来の動線  
全扉乗降の動線

# 運賃制度の将来構想

# MOBIRY DAYSでの運賃施策

## ○時間帯別運賃・定期券（新規施策）



○割引は定率、定額の選択が可能

○定率割引の端数処理は、切り上げ、切り捨て、四捨五入の選択が可能

○定率割引において、1円単位運賃の実現も可能

○定期券は、時間帯別の現金運賃で算出

# MOBIRY DAYSでの運賃施策

## ○金額指定定期券（2025年春 予定）

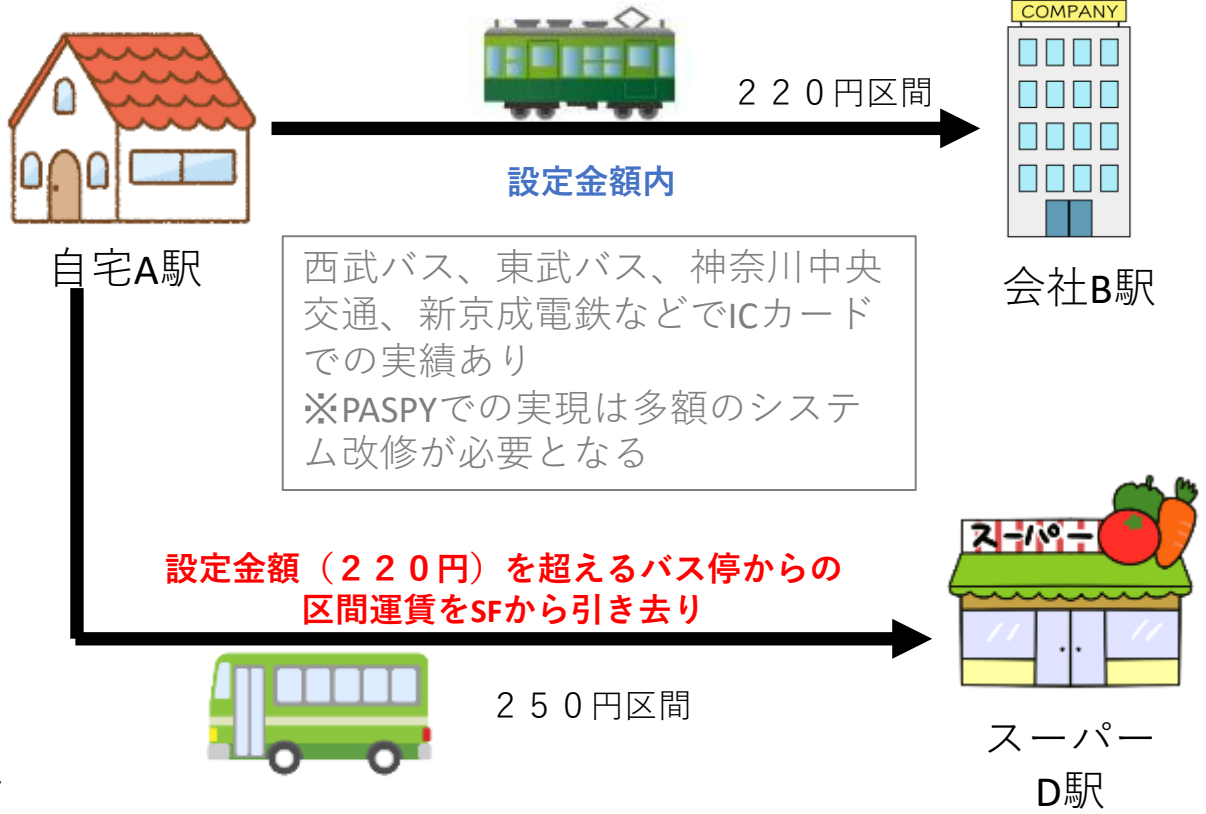
25歳～60歳定期  
 広島駅 ⇄ 市役所  
 22.4.1から 22.04.30まで  
 PASPY 5,320円



25歳～60歳定期  
**220円区間全線**  
 22.4.1から 22.04.30まで  
 PASPY ? , ???円

※Hi-ABTではICカードではありません

**金額指定定期券とは**  
 定期券の設定金額以内の区間であれば、路面電車・路線バスの全線が利用できる





# MOBIRY DAYSでの運賃施策

## ○年齢別定期券（新規施策）

### 現在



幼児無料



1歳～12歳未満  
5割引



12歳以上  
通勤定期 3割引 通学定期 4割引

### 新施策（例）



幼児無料



1歳～6歳未満  
6割引



6歳～12歳  
5割引



13歳～18歳  
4割引  
(通学定期相当)



19歳～24歳  
3.5割引



25歳～60歳  
3割引  
(通勤定期相当)



61歳～66歳  
4割引  
(通学定期相当)



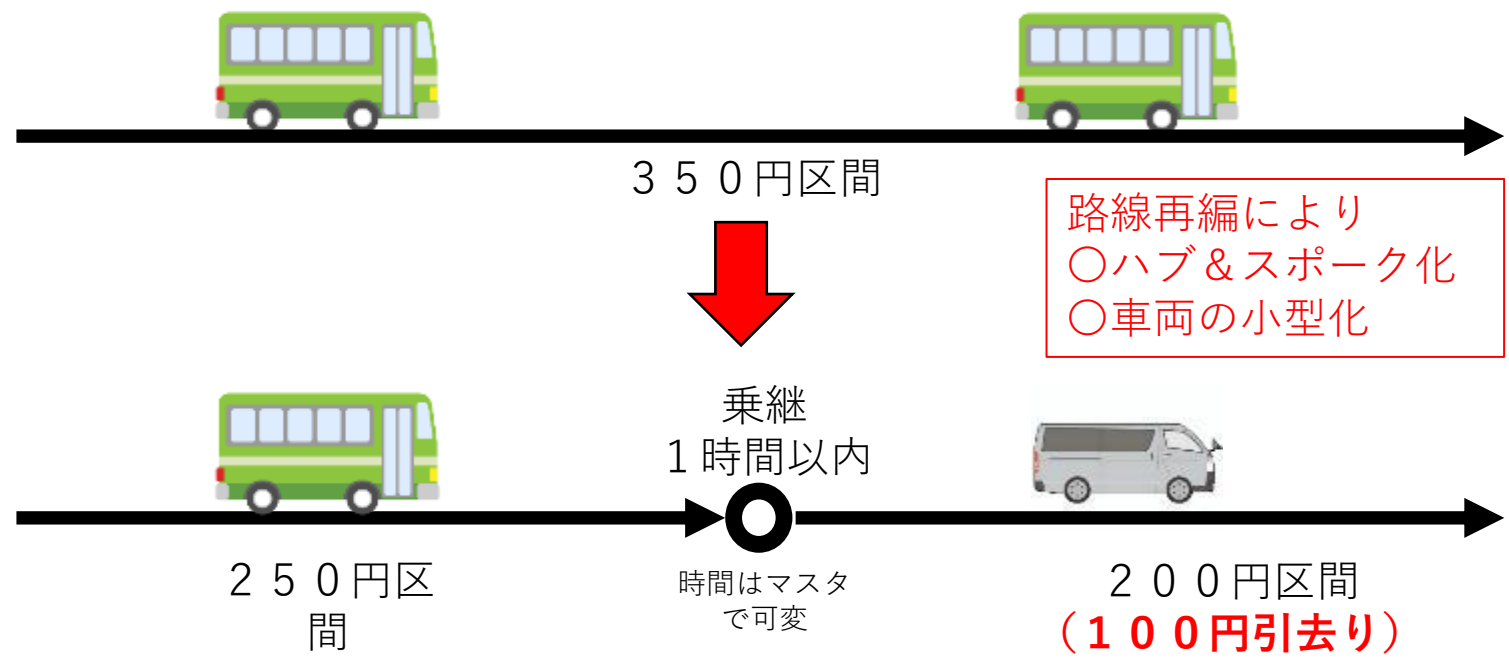
66歳～  
5割引



通勤定期・通学定期・シルバーパスの廃止

# MOBIRY DAYSでの運賃施策

## ○直通乗継割引（既存、拡張）



- 指定停留所で1時間以内で乗り換えた場合、第2降車時に直通運賃の差額を引去り  
直通運賃（350円）－第1降車運賃（250円）＝第2降車運賃（100円）
- Hi-ABTで運賃マスタをクラウド化することにより、限られた指定停留所が無限となる

## ○高齢者・児童福祉制度

利用者属性を細かく把握し、柔軟な運賃施策を検討



- 高齢者にIC福祉カードを配布  
対象年齢は各自治体の定めによる、障害者を対象にすることも可能
- IC福祉カードでの一定エリア内の利用は割引運賃を適用  
均一運賃、定率割引、定額割引
- 小児運賃の低廉化や通学定期券の利便性向上も検討

# 持続可能な公共交通の実現に向けて

## 課題

### 【行政】

地域内の公共交通を維持するための計画を検討するノウハウがない。

### 【事業者】

事業者それぞれが企画、販売等の業務を行うなど、地域全体で見ると効率的な運営が出来ていない。

A社	B社	C社	D社	E社
計画作成	計画作成	計画作成	計画作成	計画作成
窓口業務	窓口業務	窓口業務	窓口業務	窓口業務
システム構築	システム構築	システム構築	システム構築	システム構築

事業者がそれぞれ業務を行うなど非効率

## 目的及び業務内容

### 【目的】

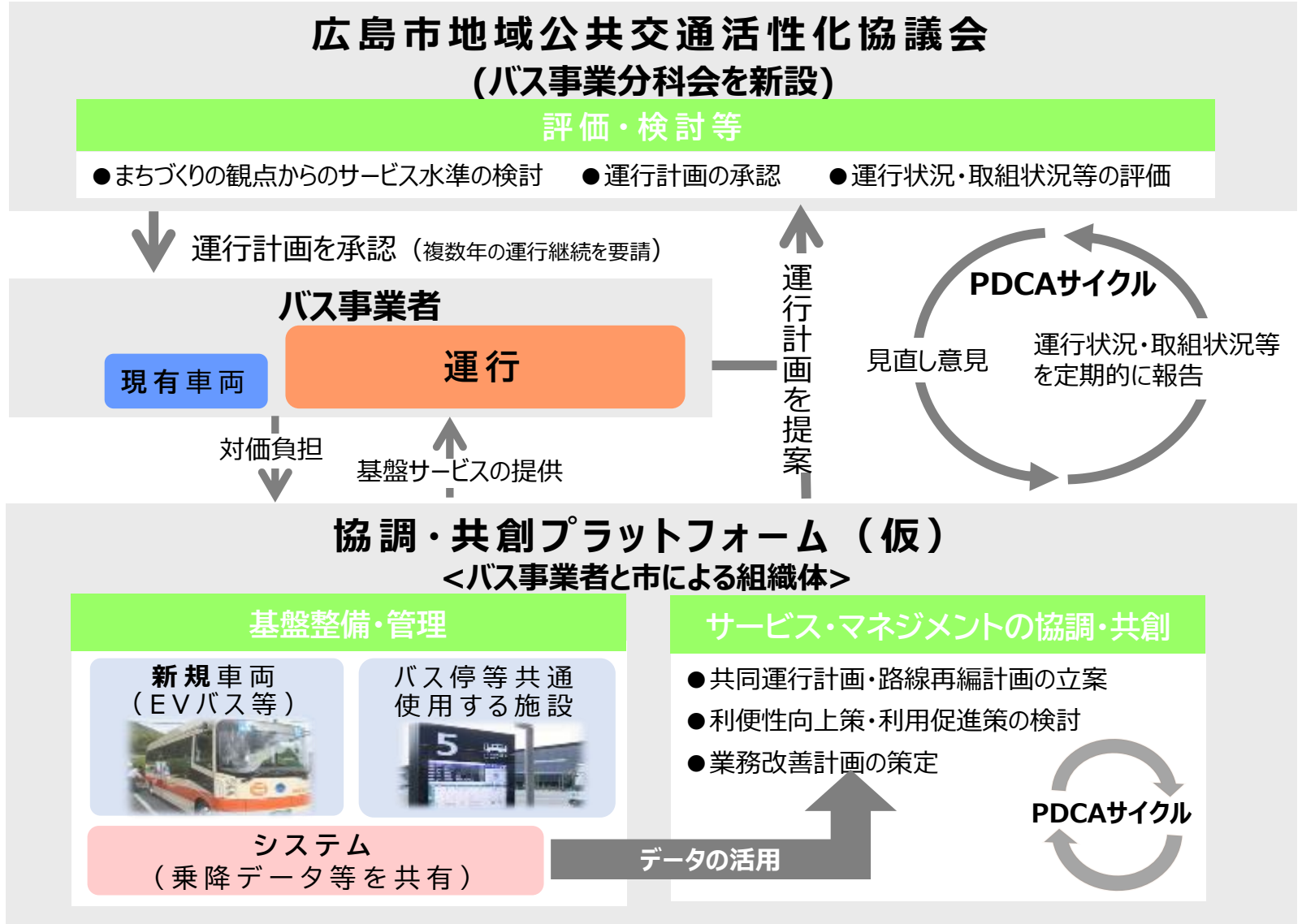
民間交通事業者のノウハウを生かして地域公共交通の運行計画などを策定するとともに、後方業務を一括して行うことで、業務の標準化及び経費削減につなげ、持続可能な地域公共交通の実現を目指す。

### 【業務内容】

下記の業務を行政、交通事業者からそれぞれ請け負うことを想定している。

- 行政 ⇒ 地域における交通のグランドデザインを描く、コンサルティング業務
- 交通事業者 ⇒ 企画、販売、問合せ業務など

# 共同運営システム（協調・共創プラットフォーム）の検討



**ご静聴ありがとうございました**